

# 2011年3月11日 震災でおきたこと

---

2011年7月16日

特定非営利活動法人 グループネクサス  
武田 智枝

# 震災発生後の出来事と私の行動(時系列 1/2)

月日	震災後	出来事	私の行動	備考
3/11	当日	東日本大震災 M9.0、最大 震度7 JR線不通	<p>子供を学校に引き取りし、自宅に戻ったところで津波にあう 自宅は55cmの床下浸水で半壊に判定。 裏山の保育所に徒歩で避難、その際に携帯電話を落とす。 車庫の車3台は浸水で廃車になる。</p> <p>避難所でも断水・停電・電話不通、備蓄食料もなかった。 トイレの使い方、緊急171の使い方、名簿の作成など手伝う 情報はラジオのみ 薬もマスクもなく、外は雪が降り寒い部屋で咳こみながら一夜を過ごす</p>	
3/12	2日目	福島第一原発 水素爆発	<p>給水車で飲み水と、朝食のおにぎり配給あり。 水が引いたので自宅に戻り薬を飲む。 自宅の危険なガラスなどを片付け、避難所の炊き出しを手伝う。 近くの病院に行くが電気・電話不通・断水だった。</p>	携帯電話のアンテナも倒れたらしく不通になり、病院が外来やっているのかなどの電話確認もできなかった。
3/13	3日目		<p>自宅周辺の瓦礫や泥の片付け 余震が続いており、居間に懐中電灯を照らし集まって寝る。 井戸水を分けてもらいプロパンガスで調理できた。排泄は庭。</p>	
3/14	4日目	東京電力で輪 番停電	<p>山形の実家弟が来て石巻赤十字病院を受診するが、主治医の診察は受けられず3日分の処方箋をもらう。しかし薬局が閉まっているため、山形の実家へ帰省。</p>	ガソリンもなく車もないので頻繁受診できず、山形の病院へ転院を決めた。しかし紹介状は出せる状況ではなかった。
3/15	5日目	福島原発 30km圏内屋 内退避	<p>山形大学病院にタクシーで受診する。 薬品不足で2週間分程度の処方、薬局に薬がなく後日届けてもらった。 携帯電話の手続きし、ネクサスなどと連絡とれて助言を受ける。</p>	

## 震災発生後の出来事と私の行動(時系列 2/2)

月日	震災後	出来事	私の行動	備考
3/16	6日目		スーパーも品薄で、買出しに奔走する。	
3/17	7日目		ガソリンスタンドに5時間ならぶ。	
3/18	8日目	山形に3000人避難 透析患者の避難	食料を持って被災地に一時戻る	県は情報収集 県外一時避難検討
3/19	9日目	携帯電話のアンテナ復旧。		
3/20	10日目		近所の親戚にガソリンや乾電池を譲ってもらう。	
3/21	11日目	電気復旧		
3/22	12日目		JAFや保険の問い合わせなどの手続き	
3/23	13日目	水道復旧し、入浴可。		
3/24	14日目	東北道再開		
4/7	28日目	震度6の余震で停電・断水		
4/14	35日目		石巻赤十字病院 放射線科の経過観察受診 かかりつけ患者の予約受け入れは可能になっていた。	

# 震災発生後の問題(樹列 1/2)

東日本大震災が起きた！ 3月11日 震度7・4月7日 震度6  
ライフラインや食料飲料水の不足、交通問題、医療機関や公的機関の機能停止

(問題)

## ①患者自身の問題

- ・治療中の体力低下
- ・抵抗力の弱さ
- ・寒さの耐性
- ・服薬し症状抑える

風邪などの感染症や低体温症で命を落とした人もいる。また体力がない中の片付けや車のない買出しなどは大変だった。

## ②災害による環境問題

- ・断水で手洗いや入浴不可
- ・食料・飲料水がない
- ・トイレが使えない
- ・ガス・電気が使えない
- ・電話等の連絡手段がない
- ・車や電車の交通手段がない

停電で生命に必要な酸素ボンベや吸引処置を在宅で使用不可に。食事療法や人工肛門なども避難生活では困難になる。電話もなく車も流され救急車も呼べなかった。

## ③医療の問題

- ・病院が一般診療不可
- ・院外処方薬の薬局閉店
- ・紹介状がなかった

沿岸部の病院が被災したため石巻赤十字病院に集中し救急外来の対応に追われ一般診療ができなかった。遠隔病院まで受診できず薬をがまんした患者もいた。がん手術の予定も3ヶ月延期されたり、放射線治療が中断された。

## ④社会的問題

- ・高齢化率が高い地域
- ・医療の過疎化
- ・独居
- ・がん登録の遅れ
- ・経済問題
- ・就労問題

身障手帳などなら民生委員や自治体が把握し災害弱者としているが、がん患者は把握されていない。家や貯金すべて流され保険証や現金がない。失業などで経済困難。遠くの医療機関に受診するのに滞在先がない。

# 震災発生後の問題(樹列 2/2)

①患者自身の問題

②災害による環境問題

③医療の問題

④社会的問題



解決法や対策方法

自助

## 体調管理

- ・着替えて保温
- ・マスク等感染予防
- ・薬の確保
- ・お薬手帳の所持
- ・体力づくり

## 代用工夫や自家発電

- ・自家発電の備え
- ・オムツや吸引の手作り
- ・沸かしたお湯で消毒
- ・ウエットティッシュで保清
- ・周りに助けを求める

## 治療の継続

- ・中断せず受診する
- ・医療者に相談する

## 人とのつながり

- ・患者会などの活用
- ・相談窓口の利用
- ・情報収集

支援

- ・支援物資の毛布
- ・片付けボランティア

- ・近所で受診介助
- ・福祉避難所
- ・仮設トイレ
- ・給水車や炊き出し
- ・巡回バスの運行

- ・転院するコーディネート
- ・災害医療チームの支援

- ・保険証提示なく受診可
- ・医療窓口負担の免除
- ・仮設住居の確保
- ・県外一時避難の確保